

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2024年5月10日(金)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

里山での発見②

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- ・3、4歳の時に多くの自然体験を行い、一人一人が発見や工夫する力が身についてきた。多くの自然体験をして今までは一人の発見や気づきをみんなで共有することがなく、広がりが見られなかった。そのため今回の活動では里山の自然を通して一人の発見や気づきに足を止めて、興味関心を子ども達全体に広げていく。

2. 活動スケジュール

- ・里山に行き、散策をする中で自然物に触れ色々な発見をする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・里山
- ・葉っぱ
- ・スタンドグラスの台紙
- ・虫かご
- ・虫取りあみ

4. 探究活動の実践<活動の内容>

- ・何度か来ている里山なので“こんなことをしたい”“こんな発見をしたい”というイメージを持ち、必要な道具等も自分達で発信しリュックに入れていた。
- ・里山を歩きながら子ども達の発見に耳を傾け立ち止まり、一人の気づきをみんなで共有していた。
- ・自然への興味関心、気づき、工夫が生まれるようにスタンドグラスを用意し、それを通して友達同士のやり取りが広がっていた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> •「かぶとむしどこにいるかな」と呟いている子に、「かぶとむしはこんな木の下にいるんだよ」と、虫に詳しい子が教えてくれて一緒に探していた。探していると「見て見て、クワガタのツノがあった」と違う発見をしていた。 •「これってなんだろう」と小さなタケノコを不思議そうに見ていると、「こっちにもあるよ」ともっと大きなタケノコを発見していた。初めは触ろうか迷っていたが、一人の子が「さわってみようよ」と言って触ってみると、「なんだかふさふさする」「きもちいいね」と感触を共有していた。「これがたけになるんだよ」と近くの友達が呟くと、「これがたけになるのか〜」と上を見上げていた。 • 葉っぱのステンドグラスでは初めは大きい葉っぱを入れるだけだったが、太陽にかざし葉脈が見える事を発見したり、「ハリネズミにしようかな」とイメージを形にしようとしたりする姿が見られた。 	

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

以前は友達と会話することなく黙々と行っていた子ども達だったが、里山での経験が増えていく中で、発見や気づきを友達にも共有している姿が見られるようになってきた。また、視線が広がり発見したたけのこの手触りや一つ一つの大きさの違い、模様がある事など、自然の中のちょっとしたことに気付いている姿が見られた。